授業づくり研修講座　実践レポート

　栗原中学校　　　　氏名　　　安達　誠

単元名　　第　１　学年　　「スリーポイント作文を書こう」

実践のポイント（工夫）

・身近な題材を通して、論理的な文章を書くことのトレーニングを行う。

・ポイントを押さえれば、自分にもじゅうぶん論理的な文章が書けるのだという達成感を持たせる。

実践内容

|  |
| --- |
| ＜単元設定の理由＞論理的文章を書く上で、題材のハードルが高いと作文そのものに集中できないと考え、この題材について授業を行った。また、第1回講座の導入題材が面白く、これに中学生が各自の感性で取り組んだらどうなるのかたいへん興味があったので、この題材をそのまま借用することとした。＜実践内容＞導入・論理的な文章とはなんだろうか、考える→　内容が正しい、理屈や筋道が通っている、等・「今回の文章の形」を確認する　　　　　→　①何について述べるのか（主題）　「座間市の良いところを紹介します。」　　　　　　　②ポイントを３つ挙げる（主張の根拠）　　　　　　　③結論を述べる・実作・振り返り　　　　　→　よくまとまっていると思われるものを、授業者から紹介　　　　　　　良い点を評価し、みんなそれぞれじゅうぶんに力を持っているので自信を持って書いていくようにという方向でまとめを行う。 |

振り返り（成果や課題）

・生徒にとって取り組みやすい題材で、論理的な文章を書くという当初の目的は達成できたと考える。

　書けない生徒はほとんどなく、おおむね達成することができた。書けない生徒も、時間をかけて個別支援すれば書き上げられると思われる。

・ここまでで時間一杯であったので、「同じポイントで逆の結論を導く」という取り組みは今後時間をみて行いたい。